

町史編さん室だより

赤堀禪稲（人物伝）

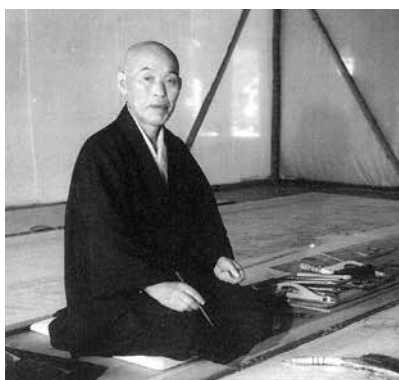
今回は、赤堀禪稲を紹介しします。禪稲師は、明治24年に丹羽郡野寄村（現岩倉市野寄町）で生まれ、9歳の時に桂林寺14世森川師に得度し、のちに曹洞宗大本山永平寺で修行しました。洋画を野崎華年に学び、日本画を土佐派の森村宜稲に学んだのち、東京美術学校（現東京芸術大学）の聴講生として学びました。

大正9年、山梨県東八代郡富士見村（現山梨県笛吹市）の少林寺住職に招かれ、昭和12年、山梨県甲府市で開かれる市制50周年記念全日本産業観光大博覧会に向けて市からの依頼を受け、三方ヶ原合戦図の作成に取り掛かりました。縦2m・横27mの大作でしたが、戦争の激化で中止となり制作も途中で打ち切られました。のちに、この絵は甲府市の市制百周年記念事業として甲府市で展示されています。

昭和17年に桂林寺住職として、丹羽郡大口村豊田に帰ってきました。禪稲師は、禅宗の僧侶でありながら、佛画だけでなくとらわれぬ歴史、美人、花鳥風月など流派にとらわれない多

様な作品を描き続け、曹洞宗大本山永平寺・大本山總持寺にも画を献納しています。永平寺へは、永平寺高祖大師七百年忌（昭和27年）に併せ、前年に「聖徳太子尊像」を献納しました。2年後には、依頼を受け總持寺に「後醍醐天皇尊像」を献納しました。昭和34年に永平寺から「参拝者が増加し、鉄道も電化され、ますます参拝者の増加が見込まれるので描いてほしい」と依頼され、永平寺の全景図「永平寺全図」（5m四方）を献納しました。昭和37年7月完成、翌年11月に額装。四年半にわたる大事業でした。

「永平寺全図」の額装を見届けた翌年（昭和39年）1月、73歳で永眠しました。



▲永平寺全図を描く禪稲師

問合せ先

町史編さん室 ☎ 95-34464



ウィル大口NEWS

VOL.13



こちらよりホームページをご覧くださいませ！

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

今年も、新型コロナウイルス感染症防止対策を取りながら皆さんの健康維持の場を提供してまいります。

本年もたくさんの方のご利用を、スタッフ一同お待ちしております。

見事！尾張 FCが初出場で東海3位！

当クラブのサッカー教室（尾張 FC）が、パロマカップ第35回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）愛知県大会で初優勝し、11月から開催された東海大会（初出場）で3位という輝かしい成績を収めました。



コロナ禍で、練習もままならない日もあった中、このような成績を収めることができたのは、選手の日々の努力と保護者や関係者の方々のお陰です。今回の経験を活かし、次の大会に向け精進していきますので、今後とも応援よろしくお願いいたします。

教室一覧 多種目スポーツ／水泳／サッカー／幼児体操／園児体操／小学生体育／チアダンス／テニス／ソフトテニス／バレーボール／フィールドホッケー／生き生き土曜学級／のびのび健康体操／健康麻雀／うたごえ喫茶／プログラミング

指定管理施設 大口町総合運動場／大口町温水プール／わかしゃち国体記念運動公園／秋田グラウンド／河北グラウンド／総合テニスコート／大口町テニスコート／大口町屋内運動場／大口町野球グラウンド／ゲートボール場

NPO法人ウィル大口スポーツクラブ事務局 大口町温水プール2階（月曜・火曜休業日） ☎ 95-1313
水曜日から土曜日 午前10時から午後6時／日曜日 午前10時から午後5時（午後0時30分から1時30分除く）